

11. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (沖縄)	-	-	-	-
		一般小売店 [鞆・袋物] (経営者)	来客数の動き	・海外、特に東南アジアからの観光客が以前に比べてかなり増えている。
		百貨店(店舗企画)	販売量の動き	・旧盆のずれによりお中元ギフトの動きは前年に比べ弱い、その分は8月にシフトする。一方、インバウンド客は一層増えており、免税売上は30%以上伸びている。
		コンビニ(経営者)	来客数の動き	・インバウンド客が増えている。アルコール類や冷たい飲み物、お菓子及びインスタント食品がよく出ている。
		通信会社(店長)	販売量の動き	・ボーナスと夏休み需要のお陰か、3か月前と比べて販売数が10%ほど伸びている。
		ゴルフ場(経営者)	販売量の動き	・前年同時期に比べて単価を上げて販売したが、特にマイナスの影響は無く、客数が増加傾向となり、業績は良いとみている。
		旅行代理店(マネージャー)	販売量の動き	・夏休み商材がもう少し伸びるか期待していたが、今のところ横ばいである。
		通信会社(サービス担当)	販売量の動き	・あまり変化は見受けられない。
		その他のサービス[レンタカー](営業担当)	来客数の動き	・予約件数はほぼ前年並みで推移している。県内のレンタカー各社は前年より増車しており、供給過多になって価格の下落が起こっているように見受けられる。
		住宅販売会社(代表取締役)	来客数の動き	・個人住宅、共同住宅、商業施設、防音工事、公共工事など各部門ともバランス良く工事受注に向けた営業活動を行っている。
		スーパー(販売企画)	来客数の動き	・新規競合店の出店などで競争は激化しており、客数の減少により前年比で売上を落としている。
		衣料品専門店(経営者)	来客数の動き	・夏休みがスタートした7月後半から来客数が減っている。特に昼間の時間帯は暑すぎるのか、通行人も少ない。
		その他飲食[居酒屋](経営者)	来客数の動き	・例年に比べ入客が落ちている。観光客は増えているが、平日において地元客が小さな専門店に流れていることに加え、遅い時間まで飲み歩かなくなっている。
		観光型ホテル(マーケティング担当)	販売量の動き	・客室稼働率において、3か月前と比べ今月は前年同月実績を下回っている。
	住宅販売会社(営業担当)	来客数の動き	・住宅展示場への来場者数が前年同月比47%で、半数以下となっている。	
	x	商店街(代表者)	競争相手の様子	・日本全国で見ると、一部では景気が良いという話はあるが、商店街の零細企業は単価の面でも大型店との競争ができず、売れない日が続く店も結構あるようで、大変危機感を抱いている。
企業 動向 関連 (沖縄)	-	-	-	-
		食品品製造業(総務)	受注量や販売量の動き	・売上、販売量共に伸びており、業界内では景気が悪くなっているという話は聞こえない。ただし競争は厳しくなっている。
		建設業(経営者)	受注価格や販売価格の動き	・受注額が少額で、売上全体は横ばい状態である。
		輸送業(営業)	受注量や販売量の動き	・既存顧客の一時的な取扱物量は増えているが、販売先への納品物量と比例していない。在庫過多の状況である。また、新規の問い合わせは引き続き多いが、倉庫や人員不足による受け入れ体制の問題で受託は厳しい状況である。
		会計事務所(所長)	取引先の様子	・観光業など一部の産業は活気があるが、季節的な要因もあると考えられる。
	x	窯業・土石製品製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・公共、民間工事共に前年比で減少している。
雇用 関連 (沖縄)	-	-	-	-
		人材派遣会社(経営者)	求人数の動き	・今まで派遣依頼のあった職種以外の問い合わせや、はるばる遠方から依頼のために訪ねてくるなど、どの業種も人材確保が厳しく、派遣会社に頼るところが増えている。

	人材派遣会社 (総務担当)	求職者数の動き	・どの業種も人手不足感があるせいか、企業からの求人問い合わせは多い。求職者の動きが少ないため、即対応できない状況が続いている。
	学校 [専門学校] (就職担当)	求職者数の動き	・求人は増えても、求職者数の変動は見込めない。
	求人情報誌製作会社 (編集室)	求人数の動き	・7月度の週平均件数は965件だった。4月度の週平均1,056件と比較すると、91件減少している。夏休みに入り、観光客の増加やお盆前ということもあり、学生向けの短期バイトなどが増加している。
	x	-	-